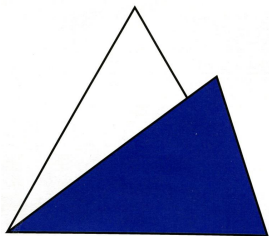


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2021年 6月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2021年 6月 1日発行 通巻338号

山行中はコロナ対策を万全に

うつらない！ うつさない！

6月号目次

・ 目 次	2
・ 県連5月理事会報告（ZOOM会議）	3
・ 全国連盟・遭対部報告	6
・ 県連理事会報告	8
・ 松戸山の会、コロナ対応山行ルール	10
・ 対策フロー図	12
・ リレーエッセイ	15
・ 6月・7月予定表	16

表 紙 説 明

6月に入り、各山城から花の便りが届いています。

尾瀬も水芭蕉からキスゲへと、夏本番を迎える準備をはじめています。

我が家では、キスゲが実生から発芽して3年目でやっと花をつけました。

イワタバコは、中原さんからいただい一芽が株になり元気に花が咲きました。

淡い紫の花は、中原さんの笑顔を思い出します。

—— 編集者 ——

千葉県勤労者山岳連盟 2021 年 5 月理事会報告

報告者 県連理事 羽鳥健一郎
(東葛山の会)

【日時・場所】2021 年 5 月 20 日 (木) 19:00~21:00 ZOOM 会議

【出席理事】君津ケルン山の会、かがりび山の会、岳人あびこ、ちば山の会、
千葉こまくさハイキングクラブ、東葛山の会、船橋勤労者山の会、
ふわくハイキングサークル、松戸山の会、まつど遠足クラブ 1 年さくら組、
山の会らんたん、山の会「岳樺クラブ」(12 会 13 名)

【出席役員】会長：広木国昭、理事長：野田久生、副理事長：鶴田秀雄
ハイキング委員長(理事兼務)：田中康男、自然保護委員長：菅井修、
教育遭難対策委員長：伊東春正、海外委員長：安彦秀夫

【オブザーバー】全国連盟理事：石川昌 (船橋勤労者山の会)

参加者 20 名

司会：野田理事長 ZOOM 協力：安彦海外委員長 書記：羽鳥理事 (東葛山の会)

【議 事】

1. 野田理事長挨拶

- ① 千葉県内も新型コロナ感染拡大は一向に収まっていない。感染防止に十分に注意の上行動して欲しい。
- ② 各会代表、理事のメールアドレス、携帯電話一覧表を作成した。
- ③ 今月から全国連との情報共有、対応等スムーズにするために 2 名の全国連理事にオブザーバーとして参加してもらおう。今回は 1 名が出席。

2. 各委員会報告

(1) 役員会 (広木)

5 月 7 日 (金) 18:00~20:20 ZOOM 会議

理事会への対応や全国連からの情報対応等を協議した。全国連盟との対応は県連を通じてやることを再確認した。

(2) 教育遭難対策委員会 (伊東)

- ① 4 月の事故報告はなし。
- ② 6 月 5 日に計画していた初級登山講習は新型コロナウイルス禍の収束が見通せないため中止する。
- ③ 第 3 回全国救助技術講習会 7 月 3 日~4 日 福岡県で開催。伊東教遭委員長が参加する。

(3) 自然保護委員会 (菅井)

- ① 第 24 回全国自然保護講座が京都で開催されるが千葉県連は不参加。

- ② 今年度はクリーンハイクとしてプラスチックごみを減らす取り組みを進めたいがコロナ禍で全体活動は難しい。各会が工夫し対応をお願いしたい。
- (4) ハイキング委員会 (田中)
- 6月26日開催の「全国ハイキング活動者会議」には田中委員長が出席。
ZOOM参加も可能。参加希望者は5月末までに野田理事長に連絡を。
- (5) 組織委員会 (野田)
- ① 千葉県西部地区まん延防止期間中の各会活動状況をまとめたので活用願いたい。
- ② 2年毎に行っている各会状況調査(人数、年齢構成等)を本年度後期に実施するので協力をお願いする。
- ③ 昨年に引き続きコロナ禍が会活動に与えた影響調査を7月に実施する。
1月～6月に実施した山行回数、参加人数が調査項目。
- ④ 県連からの情報は各会で会員に提供しその反響等のフィードバックをお願いしたい。
- (6) 女性委員会 (広木)
- ① ZOOM会議の開催を目指したい。
- ② 「ワンコイン講習会」はコロナ禍のため開催が難しい。これに代わる企画を考えていきたい。
- (7) 海外委員会 (安彦)
- ① 6月にZOOM会議開催を考えている。
- ② コロナ禍で海外登山は無理な状況である。代案を検討していきたい。
- (8) 機関紙委員会 (広木)
- 「ちばニュース」の発行は現在2名で行っている。会員と県連を繋ぐ重要な情報源である。コロナ禍で山行報告が少なくなっているが各会の担当者の協力も得て新しい企画を検討したい。
- 3. 県連委員会体制、メンバー構成について(野田)**
- 提示された案を基に各委員会の新たなメンバー構成を検討。全理事が何れかの委員会を担当することを確認した。
- 4. 全国連からの情報について(野田)**
- 事前にメールで提供済みの各情報を確認してほしい。
- 5. 各会理事自己紹介、活動状況報告 (4月理事会欠席の会)**
- ①松戸山の会(渡辺理事)
- コロナ禍で守るべき3点を決め取り組んできた。
- ・山行の自粛を要請。緊急事態宣言、まん延防止等が出ている間は山行計画書が出ても受け付けない。
 - ・三密を避ける。対面の会議はなるべく避けZOOMやメールを活用。
 - ・「松戸山の会コロナ対応山行ルール」を作った。(6月号掲載)

② 山の会「岳樺クラブ」(荒井理事)

- ・ 昨年、会山行は全て中止とした(但し自己責任で行くことは了承)。従って年会費は徴収しなかった。今年も自己責任で人数は4人まで、それ以上は2班に分けて行動することとした。
- ・ 会員(会社勤務)が濃厚接触者としてPCR検査を受けた。陽性反応が出て自宅待機、その後の検査で陰性となった。自宅にいる間は千葉県から食事が届けられた。

6. その他

- ・ 今年度の「ふれあいハイク」は中止となった。次回については実行委員会で検討を進めている。
- ・ 各会(代表者)に郵送した全国連盟の評議会「決議・決定集」を有効活用して下さい。皆さんの連盟費の会計報告も載っている。
「連盟費の使われ方」「年間行事予定」等を各会会員に伝えてほしい。

7. 全国連盟からの報告(石川全国理事)

(1) 事故報告

- ① 4月報告の件数は1月の倍になっている。
(1月13件、2月16件、3月21件、4月27件)。
- ② 登攀事故(人工壁含む)の4月報告は大幅に急増している。
- ③ 各月の転倒報告の7~9割が下山中か滑走中に発生している。
- ④ 4月は2件の沢登り事故報告があったが今後は増加の可能性が大きい。
- ⑤ 室内ジム(人口壁)での事故は4月報告まで4件。
- ⑥ 1月から5月10日までに届いた事故一報は76件77名。
- ⑦ ゴールデンウィーク中の事故報告は労山内では3件。

(2) 1人ひとりのチェックポイントを再確認

- ① 下山時には登りの筋肉疲労が下りに現れる事を意識しより慎重な行動を心がける。
- ② 登攀事故対策としては日頃からの相互チェック、目で見て・指さし確認、お互いに声掛けをする等を心がける。
- ③ 自身の登山技術や同行者の技量を把握し無理のない計画を立てる。
万全なコロナ対策を講じて単独行は避け少人数の登山をお願いする。
(詳細を、6ページに掲載)

* 6月理事会 6月17日(木)19:00~20:40 西部公民館は使用できません。
一週間前に連絡するがコロナ感染状況により ZOOM 会議の可能性もあり。

以上

全国連盟・遭対部よりの報告

全国連盟遭難対策部 石川 昌

(船橋勤労者山の会)

全国各地では、事故急増が労山内だけでなく各地で増加している事が明らかとなりました。換気の良い屋外での活動がキャンプやハイキングに繋がり郊外の身近な山での事故が多発しているとの事です。また、このゴールデンウィークでは、北アルプスや谷川岳等で死亡事故も発生しました。全国の遭難対策部会で
5月上旬までに受け付けた事故一報から以下の状況が見えてきました。

要件

- ① 今年の事故報告件数、1月13件、2月16件、3月21件4月27件。
1月報告からは4月報告の件数は、倍になっている。
- ② 今年の登攀事故(人工壁含む)、1月3件、2月1件、3月2件、4月12件
4月報告は大幅に急増し、人工壁での事故も2件発生した。
- ③ 転倒事故は、1月10件、2月9件、3月11件、4月12件
各月の転倒報告の7から9割が、下山中か滑走中に発生している。
- ④ 4月では、2件の沢登り事故報告だったが今後は増加の可能性が大きい。
- ⑤ 室内ジム(人工壁)での事故は、4月報告まで4件、グランドフォール1件
ローダウンのセットミス墜落距離が少ない為、重大事故では無かったが
事故の検証は必要。
- ⑥ 1月事故報告から5月10日までに届いた事故一報の報告は、76件77名

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1	5	5	6	18	5	40
女性	2	0	6	14	9	6	37
合計	3	5	11	20	27	11	77

組織人員から20代・30代は少ない中、全体の11%。30代は女性の事故はありません。50代・60代で全体の64%を占めています。特に50代の
女性の事故数が男性の約2倍・60代は逆に男性が2倍になっています。
現在まで80代の事故はありません。

- ⑦ ゴールデンウィーク(4/29-5/6)での事故報告は、労山内では3件だったが
長野県では14件15人(死亡者6人)の遭難事故。14名が他県からの登山者。その他
群馬県谷川岳で1名(行方不明1名)、南アルプス策ヶ岳で1名の死亡事故。

一人ひとりのチェックポイントを再確認

- ・下山時の転倒事故が毎月10件前後発生しています。日頃からの脚力強化の運動を心がける事と下山時には登りの筋肉疲労が下りに現れる事を意識しより慎重な行動を心がける。
- ・4月に入って登攀(室内ジム含む)事故が急増しました。グランドフォールも2件発生しました。基本技術が足りなかった事が大きな原因です。日頃からの相互チェック、目で見て・指さし確認、お互いに声掛けをする等の確認を徹底して下さい。
- ・現在まで死亡事故は発生していませんが、登攀・室内ジムでグランドフォールの事例が発生しました。また、沢登りでの事故も4月に2件発生しています。
自身の登山技術や同行者の技量を把握し無理の無い計画を立てて下さい。
一人ひとりが万全なコロナ対策を講じて、単独行は避けて頂き計画は少人数での登山をお願いします。

2021年度 全国集会・会議予定

※ 全国的な規模の集会・会議予定をお知らせします。
詳細等が決定次第お知らせします。

全国ハイキング活動者会議	6月26日(全国連盟事務所)
全国救助技術交流集会	7月3日～4日(福岡県)
第24回自然保護講座	7月10日～11日(未定)
第5回 山の日 記念全国大会	8月10日～11日(大分県)
全国ハイキング交流集会	9月11日～12日(関西地区)
若手クライミング講習会	9月2日～3日(長野県小川山)
全国自然保護担当者会議	11月13日～14日(全国事務所)

県連理事会からの報告（2021 年 6 月）

理事長 野田久生

新型コロナ禍の中で本年度県連活動が始まり 2 カ月が経過しました。この間 2 回の理事会を ZOOM 利用で行い県連活動の運営に当たっております。コロナの影響で理事会の会場が利用できないため、および参加者の感染防止のため ZOOM を利用しています。このため参加者のコミュニケーションの確保、協議に多少の支障はありますが、不慣れな中で 2 回 ZOOM 会議を行い、なんとか ZOOM 利用の目途が立ってきました。県連の各会におかれても、リモートでの例会等を実施している会があると聞いています。このような状況ですが、それぞれ工夫して会活動を行われることを希望しております。

1. 現在の理事会活動状況、コロナ関連情報

4 月	5 月
● 5 日役員会 ◆ 15 日理事会	● 7 日役員会 ◆ 20 日理事会
新型コロナ第 4 波 4 月以降感染力の強い変異ウイルスが拡大しています。	
↑ 20 日まん延防止措置発令、5 月末解除予定 ↑ 25 日東京都緊急事態宣言発令 ↑ まん延防止措置発令中の各会活動状況の調査 → 高齢者ワクチン接種開始	

- 役員会 毎月第一（月）開催 当分の間 ZOOM 会議
- ◆理事会 毎月第三（木）開催 緊急事態宣言、まん延防止措置の状況により会場決定します。

2. 県連役員、各委員会の委員長が決定しましたので紹介します。

各会理事がこの委員会に参加して活動を行います。よろしくご協力お願いします。

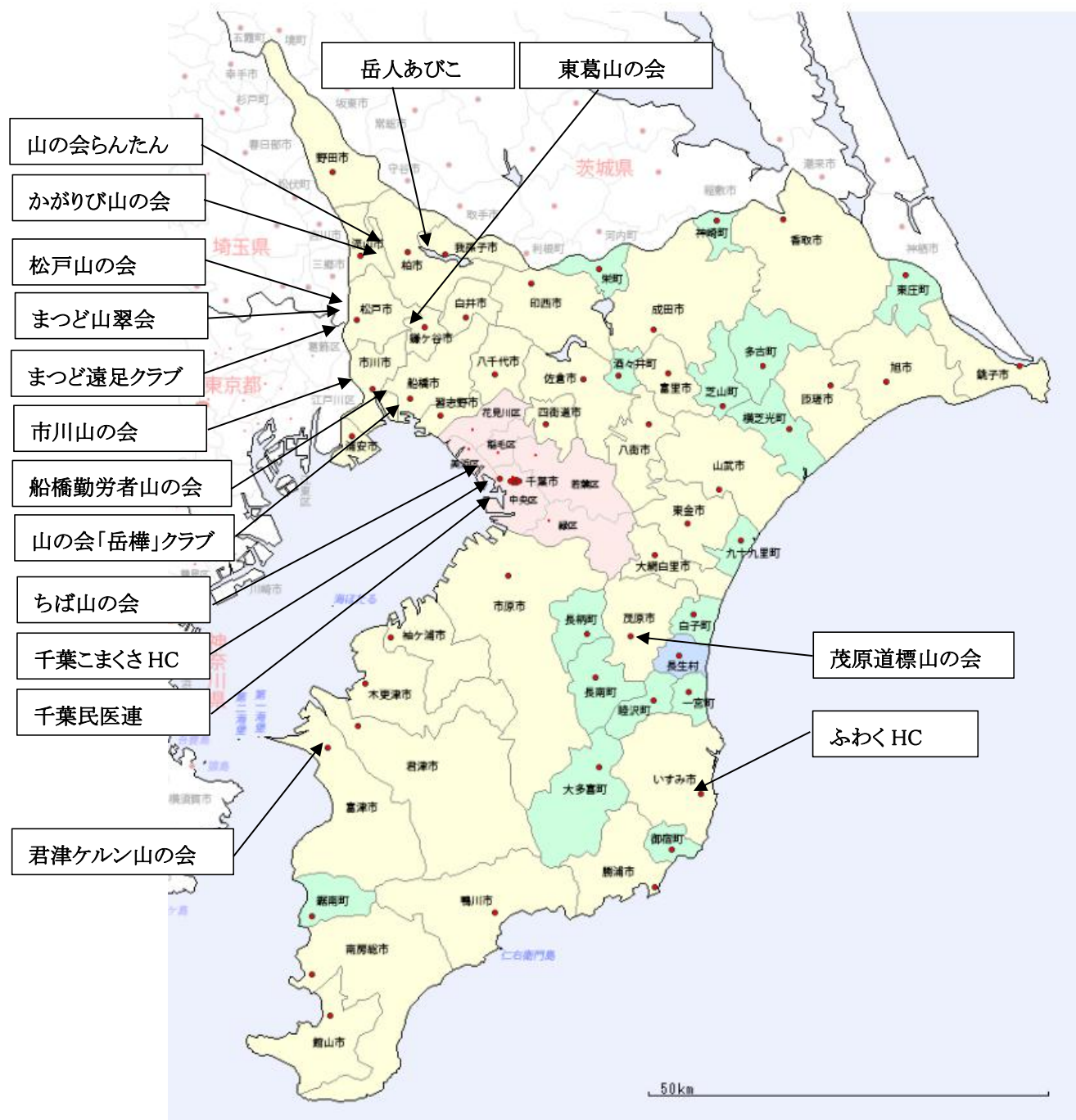
役職名称	氏名	所属会	委員会名称	委員長	所属会
顧問	古瀬 健	千葉こまくさ HC	組織委員会	野田 久生	かがりび山の会
会長	広木 国昭	ちば山の会	ハイキング委員会	田中 康男	ふわく HC
副会長	空 席		教遭委員会	伊東 春正	かがりび山の会
理事長	野田 久生	かがりび山の会	自然保護委員会	菅井 修	ちば山の会
副理事長	鶴田 秀雄	ちば山の会	海外委員会	安彦 秀夫	東葛山の会
事務局長	空 席		女性委員会	広木 国昭	ちば山の会
副事務局長	空 席		機関紙委員会	広木 国昭	ちば山の会
会計	小林 康夫	松戸山翠会			

3. 県連加盟会 所在地一覧

2021 年 5 月 野田作成

加盟会の本拠地がわかるように地図で表現してみました。

県連の理解にご利用してください。



加盟会の多くが、県北西部常磐線、総武線沿線に本拠地を置いていることがわかります。

松戸山の会コロナ対応山行ルール

2020年9月3日

原紙 令和2年6月10日
「公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会登山医科学委員会
登山再開に向けてのガイドライン」の一部追記及び削除

A. 登山計画とアプローチ

1. 長期間の登山自粛により体力が低下しているかもしれません。歩行時間の短いハイキング、里山の登山など負担の少ない活動から始め、自分の体力を確認する。
2. 山域を管轄する自治体の移動制限等の情報及び登山口までの公共交通機関の運行状況を事前に確認する。
また、公共交通機関が混雑する際には感染のリスクが高まるので、できるだけ混雑する時間帯等を避けて移動する。車の乗り入れが可能であれば自家用車でのアプローチも考慮する。
3. 自家用車の際には車内は「3密」になりやすいので登山仲間との乗り合いは最小限にする。移動中にはマスク着用、窓を開ける等の換気、トイレなどで共有設備に触れる前後には手指の消毒を心がける。
4. 山小屋やテント場を利用する際には事前に管理者に連絡し、運営状況を確認する。
小屋を予約する際には、感染拡大防止のためのルールがあるのか確認する。
5. 登山下山後は、観光等により周囲の人からの感染を避けるため、速やかに松戸に戻る。
6. 感染の拡大中の山域の山行はできるだけ避ける。登山者との接触に注意し、移動時にマスク等の着用、手指の消毒等を徹底してください。
7. 班山行等のグループ山行は、感染の拡大中は控えめにする。

B. 登山前の体調管理

1. コロナの潜伏期は1～14日間であり、発見から5日程度で発症することが多いとされている。初期症状としては発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、嗅覚味覚異常がみられる。
2. 自分の体調の異常に早く気付くために、日頃からご自身の体温測定、健康チェックをするようにする。以下に該当する人は登山を避ける。
 - ア. 平熱を超える発熱
 - イ. 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ウ. だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - エ. 嗅覚や味覚の異常
 - オ. 感染症陽性とされた人との濃厚接触がある場合
 - カ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合
 - キ. 過去14日以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある場合

C. 登山メンバー

1. メンバー数は登山道や休憩場所で密集・密接を避けるために多くとも6名程度までとする。
密集、密接を避けるために2m以上の間隔を保つ。やむをえず、6名を超える場合は、複数のグループを構成し密集を避ける。

2. リーダーはメンバーが B-2 のア〜クに該当しないことを行動前に確認する。
3. 単独行の際には、自身の体調に異変を感じた時には登山継続を断念し下山する。

D. 登山中の感染防止・体調管理

1. 行動中は周囲の人と2m以上を空ける。
運動強度が強い場合は吐く息が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。
2. マスクは周囲の人に感染させないために状況に応じて着用する。会話する際には必要だが、行動中に息苦しさや暑さを感じる際には外す。
できるだけ、マスクを着用したままで行動できるレベルの登山を心がける。
3. 飲食時には、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避ける。会話は控えめにし、飲み物の回し飲み、食べ物の授受・共有はやめる。
個包装のものなど、素手で触れずに食べられる行動食がよい。
4. 山ではアルコール消毒液を持参し、以下の際に使用する。
 - ア 共有部分に触れた後
 - イ 食事の前
 - ウ トイレの後
 - エ 小屋への出入り時
5. リーダーは行動中の全員の体調に注意する。
体調不良のメンバーが出た際(特に発熱や呼吸器症状がみられる時)には速やかに下山する。その際、メンバー全員で行動し、傷病者に接触するメンバーはマスクと手袋を着用する。
6. 具合の悪い登山者に出会った際はマスクや使い捨て手袋を着用し、できれば2m距離を空けて声をかけ、必要と判断されれば救助を要請する。

E. 感染防止のための装備

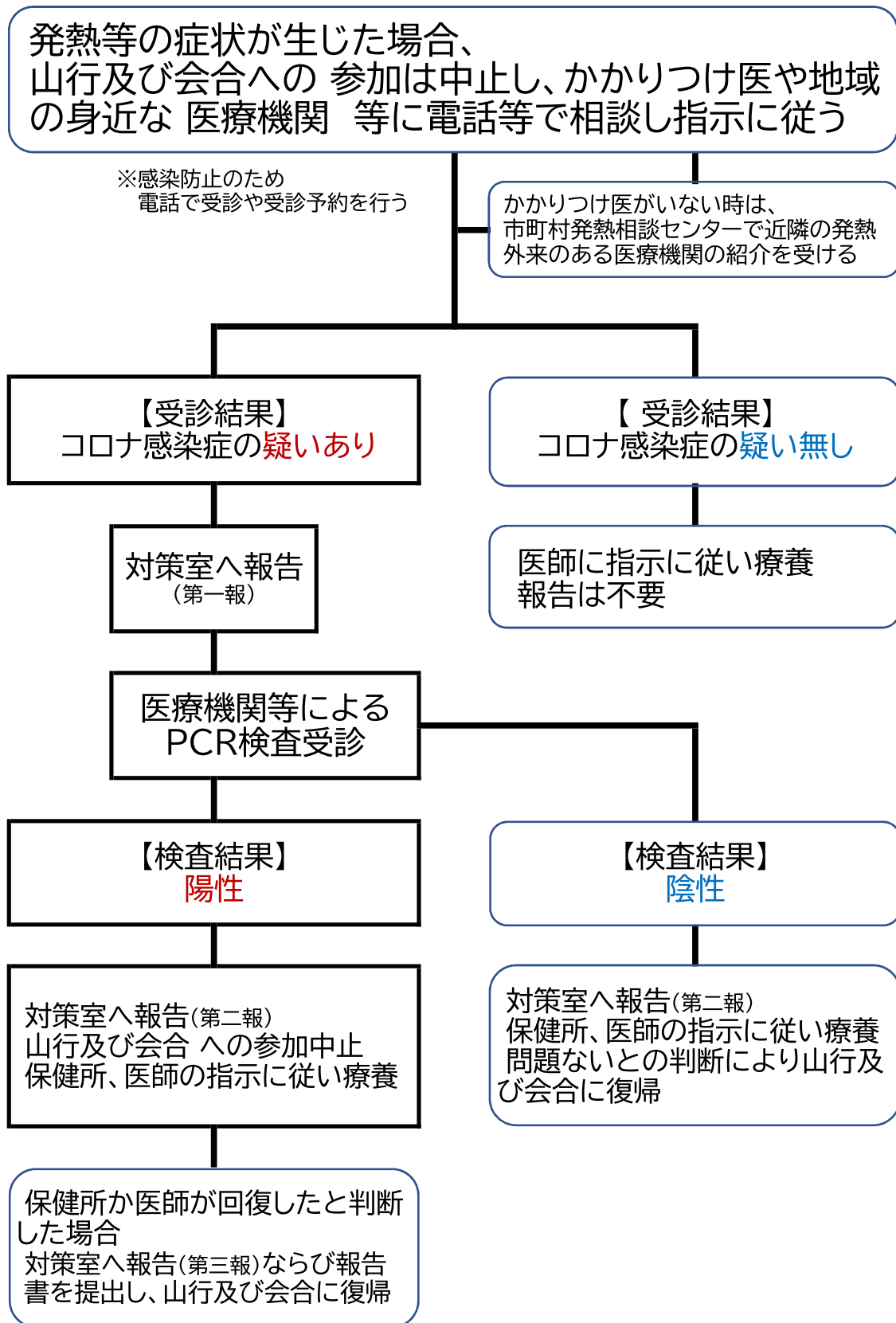
1. 日帰り
マスク(予備も)、アルコール消毒液又はクロス(消毒剤含侵用)、体温計、使い捨て手袋(予備も)、密閉(ジップロック付)ビニール袋、ゴミ袋、携帯トイレ 等
 2. 小屋宿泊
寝袋(小屋に毛布がある際にも持参)、マスク(多めに)。発症者が出た際に便利なものとして、予備食、コンロ、ツェルト、経口補水液粉末、ココヘリ、携帯電話予備バッテリー 等
- 以上

※ 「コロナ対応山行ルール」の内容については、早急に作成した関係で、不備な部分があるかもしれません。
各会の実情に応じ、再度検討いただければ幸いです。

松戸山の会のご厚意で掲載させていただきました。
質問、感想などは、県連 広木までお願いします。
danphiro@jcom.zaq.ne.jp

新型コロナウイルス感染症対策フロー図 ①

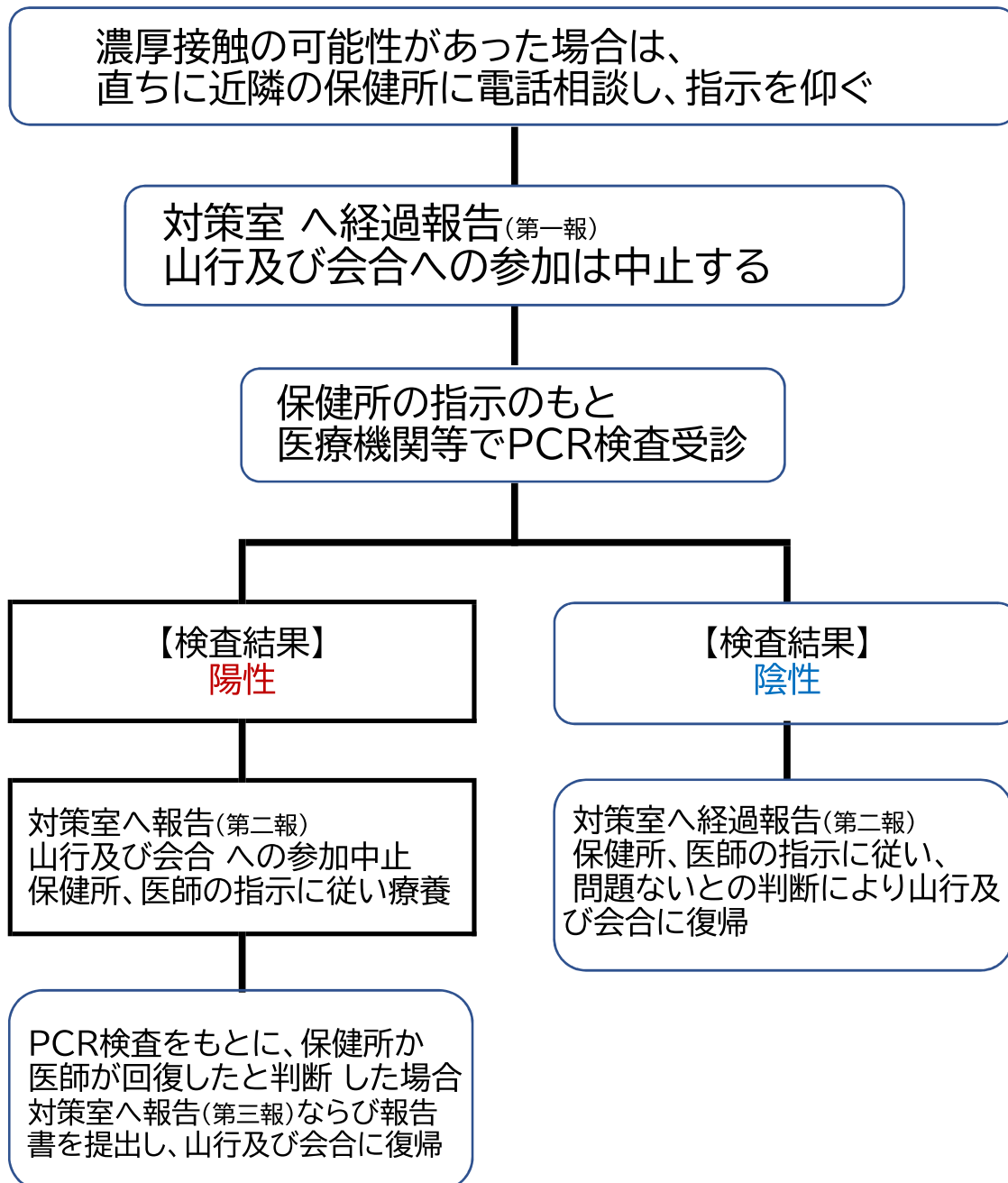
発熱等の症状が生じた場合



保健所から濃厚接触者と特定された場合

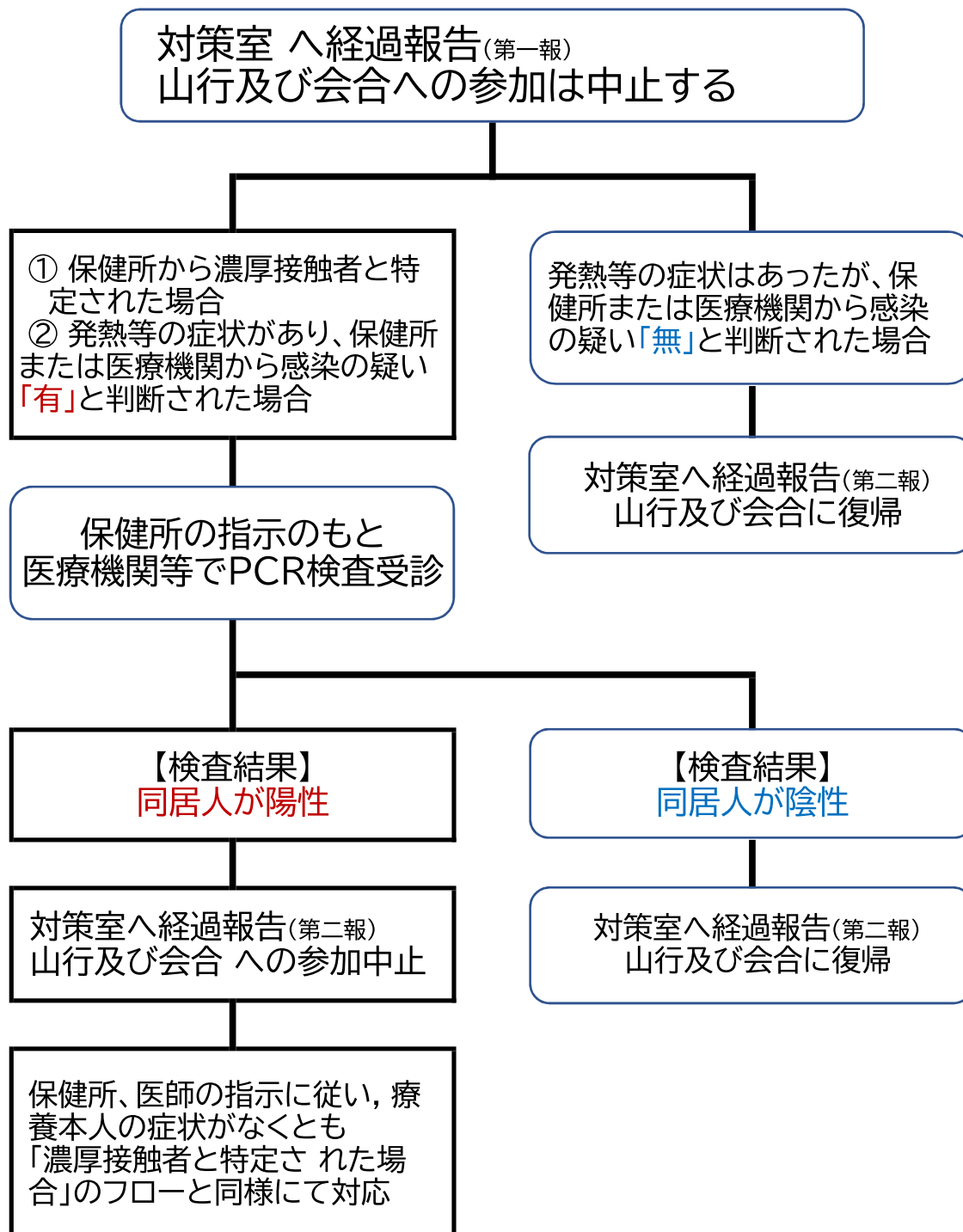
濃厚接触とは

感染者と手指消毒など行うことなく触れ合った、もしくは対面で手を伸ばしあったら届くくらいの距離(1m程度)に15分以上いた場合をいう。(厚生労働省)



同居人が以下の条件に当てはまる場合

- ① 保健所から濃厚接触者と特定された場合
- ② 発熱等の症状がある場合



奥多摩 日の出山～金毘羅尾根～武蔵五日市駅

ハイキング委員 金井 厚子

(こまくさハイキングクラブ)

20数年前にリーダーとして行って以来、あまり人気がないのか、誰も計画されてないので、この5月末に会山行として久しぶりに案内することにしました。前のときは初めてのリーダーをするために、会の山行部長が選んでくれたところでした。高低差もあまり無く、道迷いもないだろうと選んでくれたと思います。下見も兼ねて2度ほど歩きましたが、展望もなく誰にも会わず、登山道は木が覆いかぶさって暗い印象でした。

3月に下見で歩いてきました。今回も同じコースで御嶽駅からバス、ケーブルカーを乗り継ぎ御岳山駅から出発です。御嶽神社を参拝し日の出山までは、やはりコロナ3回目の緊急事態宣言下のためかなと思うほど人は少なめでした。

日の出山山頂はコーヒーのいい匂いがしていました。若いたちがあちこちでコーヒーを沸かし、遅い朝食でしょうかのんびりと山を楽しんでいるように見えました。

さてここからが金毘羅尾根、暗いのかなと思っていたら防火帯もかかっているのか前より登山道は広がって明るく感じました。

20分ほど歩いていたら前の方から登山者がいっぱい！ 電車が着いて駅から歩いて来た人たちでしょう、50人ほどとすれ違いました。その半数は外国人の方たちです。そうか沿線に米軍基地があるからだと気が付きました。彼らは風がまだ冷たいのに半袖、半ズボンが何人も。見ているほうが寒い。一人、二人でグループはいなかったです。皆さんどこへ下山するのか、聞いてみたかったですね。

麻生山が変わっていました。前はコースには入ってなかったと思います。5分で頂上。なんと東側が全部伐採されていて見晴らしが最高に良いのです。近くにいた方が説明してくれました。木立の中にあるのは西部ドーム、池袋、新宿のビル群、スカイツリー、東京湾、房総半島、丁寧に教えてくれました。ベンチも2つあってのんびりお弁当が食べられ、いい展望です。金毘羅尾根、今は武蔵五日市駅から登る人が多い。人気コースになっているのでしょう！

県連予定表

7月			6月		
日付	曜日	会議・イベント	日付	曜日	会議・イベント
1	木		1	火	
2	金		2	水	
3	土		3	木	
4	日		4	金	
5	月	役員会18:00	5	土	
6	火		6	日	
7	水		7	月	役員会 19:00~
8	木		8	火	
9	金		9	水	
10	土		10	木	
11	日		11	金	
12	月		12	土	
13	火		13	日	
14	水		14	月	
15	木	理事会19:00~ 西部公民館（予定）	15	火	
16	金		16	水	
17	土		17	木	理事会19:00~ 西部公民館（予定）
18	日		18	金	
19	月		19	土	
20	火		20	日	
21	水		21	月	
22	木		22	火	
23	金		23	水	
24	土		24	木	
25	日		25	金	
26	月	教遭委員会 19:30~ オンライン会議	26	土	
27	火		27	日	
28	水		28	月	教遭委員会 19:30~ オンライン会議
29	木		29	火	
30	金		30	水	
31	土				

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>